



兵庫教育文化研究所は、2月19日にラッセホールで、第63回運営委員会・第78回研究所員会議をおこなった。

教育講演会では、兵庫教育大学教授・理科教育部会協力研究所員の庭瀬敬右さんによる「自然科学の切り口から見た学力問題」と題した講演があった。(要旨掲載)

引き続き、第63回運営委員会では、長年にわたり、兵庫の教育に多大な貢献をされた功績をたたえ、協力研究所員の縄厚子さん(食・環境教育、研究所員の家田光祥さん(社会科教育)の代表者会議がおこなわれた。

また、09年度の活動の経過が報告され、運営および活動の総括や当面のとりくみについて協議された。

その後、各部会に分かれての第78回研究所員会議や第2回支部教育研究委員会・研究所代表者会議がおこなわれた。

また、09年度の活動の経過が報告され、運営および活動の総括や当面のとりくみについて協議された。

その後、各部会に分かれての第78回研究所員会議や第2回支部教育研究委員会・研究所代表者会議がおこなわれた。



兵庫教育文化研究所 教育講演会

自然科学の切り口から見た学力問題

教育研究と自然科学研究の観点から学力問題の答えを探る

「ゆとり教育か？詰め込み教育か？」という問いかけから、科学の「確かさ」がある。例えば、数学は世界共通の「言語」であり、科学的に自然界を探る時、その「再現性」により判定はハッキリする。しかし、文系は肯定的な平均を求めると、難しい。「教育」の問題も同様ではないか。問題視された「ゆとり教育」や新たに改訂された「学習指導要領」についても、学者や人によってその読みとり方にズレが生じる。「言葉」の部分的な解釈の中で議論され、「ゆとり」と「詰め込み」の間を右往左往している。教育者が「これが正解」と思えるものを導き出すことはできないだろう。

しかし、分りやすさを求め、「ゆとり教育」と「詰め込み教育」の二者択取を問う時点で、その答えは極端な方向性に走り間違っている。これでは「学び」のあるべき姿が見えてこない。物事には順序があり、その構造を理解する必要がある。

「詰め込み教育」は、1970年代、成績や大学入試のための暗記による教育がおこなわれていた。しかし、筋道を立てて考える力や創造性が育たないこと、いじめや非行などが問題になり、ゆとり教育へと安易にシフトされていった。

「守」は詰め込み。絶対に必要なものとしてとらえ、短期集中して覚える。努力と持続力を要する「詰め込み」には、「基礎基本」の修得においての必要性がある。

「破」はゆとり。「守」で身に付けた基礎基本に、あれこれと自分で考えを巡らせる。自分なりの応用をとり入れ、自主性や独自性などの知識における面白さを知る。



庭瀬敬右さん



庭瀬さんは、「昔から言われている格言(ことわざ)は真理をついている」とし、要所を格言であらわしながらの講演となった。

(2月19日、ラッセホールで)

「詰め込み教育」は、1970年代、成績や大学入試のための暗記による教育がおこなわれていた。しかし、筋道を立てて考える力や創造性が育たないこと、いじめや非行などが問題になり、ゆとり教育へと安易にシフトされていった。

「守」は詰め込み。絶対に必要なものとしてとらえ、短期集中して覚える。努力と持続力を要する「詰め込み」には、「基礎基本」の修得においての必要性がある。

「破」はゆとり。「守」で身に付けた基礎基本に、あれこれと自分で考えを巡らせる。自分なりの応用をとり入れ、自主性や独自性などの知識における面白さを知る。

「守」は詰め込み。絶対に必要なものとしてとらえ、短期集中して覚える。努力と持続力を要する「詰め込み」には、「基礎基本」の修得においての必要性がある。

「守」は詰め込み。絶対に必要なものとしてとらえ、短期集中して覚える。努力と持続力を要する「詰め込み」には、「基礎基本」の修得においての必要性がある。

「守」は詰め込み。絶対に必要なものとしてとらえ、短期集中して覚える。努力と持続力を要する「詰め込み」には、「基礎基本」の修得においての必要性がある。

「よく学びよく遊ぶ」ことが「生きる力」を育む

庭瀬敬右さん(兵庫教育大学教授・理科教育部会協力研究所員)

「自由」に創造しなさい」と言われた多くの生徒は困惑する。何を

「守」は詰め込み。絶対に必要なものとしてとらえ、短期集中して覚える。努力と持続力を要する「詰め込み」には、「基礎基本」の修得においての必要性がある。

「破」はゆとり。「守」で身に付けた基礎基本に、あれこれと自分で考えを巡らせる。自分なりの応用をとり入れ、自主性や独自性などの知識における面白さを知る。

「守」は詰め込み。絶対に必要なものとしてとらえ、短期集中して覚える。努力と持続力を要する「詰め込み」には、「基礎基本」の修得においての必要性がある。

「守」は詰め込み。絶対に必要なものとしてとらえ、短期集中して覚える。努力と持続力を要する「詰め込み」には、「基礎基本」の修得においての必要性がある。



「守」は詰め込み。絶対に必要なものとしてとらえ、短期集中して覚える。努力と持続力を要する「詰め込み」には、「基礎基本」の修得においての必要性がある。

「破」はゆとり。「守」で身に付けた基礎基本に、あれこれと自分で考えを巡らせる。自分なりの応用をとり入れ、自主性や独自性などの知識における面白さを知る。

「守」は詰め込み。絶対に必要なものとしてとらえ、短期集中して覚える。努力と持続力を要する「詰め込み」には、「基礎基本」の修得においての必要性がある。

「守」は詰め込み。絶対に必要なものとしてとらえ、短期集中して覚える。努力と持続力を要する「詰め込み」には、「基礎基本」の修得においての必要性がある。

「守」は詰め込み。絶対に必要なものとしてとらえ、短期集中して覚える。努力と持続力を要する「詰め込み」には、「基礎基本」の修得においての必要性がある。

「守」は詰め込み。絶対に必要なものとしてとらえ、短期集中して覚える。努力と持続力を要する「詰め込み」には、「基礎基本」の修得においての必要性がある。



みずおか 俊一 全力投球!

2004年7月、910,114票という大きなご支持で参議院にお送りいただき、早くも5年半が経ちました。当選後は積極的に社会保障、教育、労働などの問題に取り組みました。

また、「災害被災者生活再建支援法改正案」や「高校の授業料実質無償化法案」などの作成・法案提出にあたるなど、手探りの活動でしたが、必死で取り組んできました。

昨年8月、悲願の「政権交代」が実現し、私は歴史に残るこの変革の時期に国政に携わっていることに重い責任と使命感を感じながら、活動しております。

2010年夏に改選を迎えますが、これからも皆さんのご意見をお聞きしながら、「公約実行」のためにまい進してまいります。

- ◆生きがいをもって安心して暮らせる社会を! — 雇用創出、福祉に全力
- ◆未来を担う子どもたちに豊かな明日を! — 子育て支援にも全力
- ◆あらゆる差別を許さない公平・公正な社会を! — 共生の視点で全力

- <主な所属委員会>
- (現) 文教科学委員会(筆頭理事) 災害対策特別委員会
 - (元) 予算委員会(理事) 議院運営委員会(理事) 総務委員会 郵政民営化特別委員会 など

- <プロフィール>
- 1956年兵庫生まれ
 - 豊岡高校、奈良教育大学卒業
 - 三木市の公立中学校で教職
 - イブ・ニューデー日本人学校赴任
 - 兵庫県教職員組合役員
 - 2004年参院選(兵庫選挙区)910,114票でトップ当選
 - 現在、民主党財務委員長代理、兵庫県連副代表



2010年4月より新登場!

教職員共済生涯の 火災共済 + 自然災害共済

(住宅災害等給付金付火災共済)

地震 や盗難にも

しっかり備えを! 風水害もより安心に。

※自然災害共済は火災共済とセットでのご契約となります。(単独ではご契約いただけません)

火災の補償だけで大丈夫かい?

火災共済に自然災害共済をプラスすればより安心なんだね!

2010年2月より資料請求いただけます! お問い合わせは下記までどうぞ。

教職員共済生活協同組合兵庫県事業所 (所長吉田順子)
神戸市中央区中山手通4丁目10-8 ラッセホール4階
TEL 078-221-9730 FAX 078-221-1199

ホームページからもご請求いただけます

教職員共済 検索

http://www.kyousyokuin.or.jp/

※ホームページの資料請求受付も2月からとなります。